

「我がママ」と「行事」

年の終わりも近づき始め、子ども園のアンケートにご協力いただきましてありがとうございます。皆様からのアンケートを拝読して、すぐできることがありました。

「行事をする」です。

コロナになり我慢している子どもたちの気持ちに寄り添いたいので、今ならできると思い決めました。新渡戸祭で行う予定だった移動動物園を 12月7日に！2月予定していますが、第6波が来てしまったら中止せざるおえない人形劇を12月14日に学年ごとに！そして、3月の卒園遠足を終業式の日に行うことといたしました！！第6波が来なかったら取り越し苦労かもしれませんが、でも、それでもやっておくことに意味があるように、アンケートを拝読して丁寧に建設的な意見を、想いを伝えてくださっている保護者様の願いを叶えたいと思いました。それは先生方に話したら、先生方も一緒でした。

感染対策十分に開催をします。普段過ごしている学年ごとの行事です。いつものように感染対策をしっかりとって行います。

ただし！！ここが大切です。

移動動物園は、サプライズとしたいのです。お子様に内緒にて、どうぞお取り計らいのほどよろしく願いいたします。朝登園した時に「わー」と喜ぶ顔を楽しみに、その笑顔が、大人の私たちの励みにもなると良いのかなと思います。力を合わせて移動動物園のサプライズ、成功できたら良いですね。

年少の先生方の我がママ自慢です。

<小山先生>

- ・ 共働きであり、土曜日と日曜日が母とゆっくり過ごす日だった。お菓子を一緒に作るのが楽しみで、お菓子作りが上手な母
- ・ 弱音を吐かず、いつも笑顔で強い母。具合が悪い姿も見ることなく芯が強く、私の具合が悪い時も落ち込んでしまった時も前向きな言葉で励ましてくれ、いつも味方の母

<増田先生>

- ・ 私が幼い頃から病気をいくつも抱えており体調も万全ではない中、いつも笑顔で私が不安にならないようにと気遣ってくれていた優しい母
- ・ 元気がないときや悩み事があると、すぐに気がついて声を掛けてくれ、私の話をよく聞いてくれ、意見を言ってくれる母

<慶徳先生>

- ・ 私が一人暮らしを初めてからもずっと気にかけてくれている母
- ・ 働きながら家事を全て一人でこなす母
- ・ 短時間で料理を何種類も作ったり、あまりもので作ったりと料理上手の母

深い愛情で見守りながら、擁護しながらも、子どもを「子供扱い」せず、一人の人間として対峙する瞬間があることが、これから先の読めない未来を生き抜いていく「子育ての鍵」のように思います。

コロナ。お子様を子ども扱いせずに「一人の人間として」どう対処していくのかを、大人の私たちが伝えていきましょう。私たち大人には、子どもたちがまだ持っていない伝える言葉がありますから。